

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第9回 松阪市都市計画マスタープラン策定委員会
2. 開催日時	平成19年9月26日(水) 午後1時30分から午後4時00分
3. 開催場所	松阪市殿町1340番地1 松阪市教育委員会2階会議室
4. 出席者氏名	(松阪市都市計画マスタープラン策定委員会委員) 池田太一、玉川義弘、上尾欽吾、山本和彦、青木登喜雄、 野呂雅子、田上勝典、奥山和秀、伊藤義徳、福井弘、 渡辺克己、植村雄治(代理)、池田久司(代理) (事務局) 都市計画担当参事兼課長 杉山貴雄、 計画区域担当参事 米倉好晴、 中心市街地活性化室長 長野功、計画係長 鈴木政博、 計画係主任 小林義和、計画係 榊田耕成
5. 公開および非公開	公開
6. 傍聴者数	なし
7. 担当	松阪市 都市計画課 計画係 電 話 0598-53-4168 F A X 0598-26-8184 e-mail tos.div@city.matsusaka.mie.jp

議事録については、別紙のとおり

第9回 松阪市都市計画マスタープラン策定委員会議事録

日時：平成19年9月26日(水) 午後1時30分～

場所：松阪市役所教育委員会2階会議室

(開会の辞)

事務局

皆さんのお世話で完成に近いものが出来てきており、中間案に基づく修正確認でほぼ完成となる。地域を廻り勉強させて頂いたが、三雲ではルールづくりの遅れによる線引きのない中で、土地利用も煩雑になっており、新市として一体となった土地利用が欠かせないものとなっている。

他市でも都市計画マスタープランへの取り組みが進められているが、津市でも範囲が広くなりご苦労されていることも聞こえてきている。方向性をまとめて頂ければ法的な手続きに入っていくことになる。これまでのご検討に対するお礼を申し上げますとともに、引き続き今後のご検討をお願いしたい。

本日は委員長がご欠席であり、副委員長に進めて頂く。

副委員長

第9回まで全体構想と地域別のプランについてご議論頂き、32地区についてまとめて頂いた。資料に基づいて進める前に、駅前西地区再開発の都市計画マスタープラン策定委員会の代表として出席しての意見についてお話したい。新聞でも報道されているが、民間の再開発が大原則であるが、国や行政が補助金を負担する以上は合意形成が必要とお話させて頂いた。

策定委員会自体で再開発を進める等の意見をまとめたものではなく、個人的な意見として述べている。進めることが市民の総意ではないかと考えている。

策定委員会として、今後を考えて、三交百貨店跡地も含めて、独自の意見があれば今後のために聞いておきたいと考えているので、ご意見があればお聞かせ頂きたい。

(議事)

1. 松阪市都市計画マスタープラン案について

事務局

策定委員会で検討して頂いた事項に加え、表現の間違いなども含めて修正したものをお配りしており、修正箇所の確認をさせて頂く。

全体構想では、2頁下の目標年次を当初平成38年としていたが、フレームの大本は平成17年の数値であり、国勢調査年次を元に平成37年の推計を行っている。このため、目標年次を平成37年に修正している。人口などの数量には変更がない。

11頁以降では、人口等の表を残し、グラフ類は表のデータと重複していると考え削除している。

45頁の課題図の次に課題を表にしていたが、課題の文章と重複していると考え削除している。

46頁以降のフレームについては、フレームが分かり難いとのこと指摘を踏まえ、「フレームとは」

と言う説明を付記している。また、47 頁の下のように、県の指摘で県フレームを表示し、時期、区域の違いも併せて表現の上掲載している。

71 頁では、嬉野管内では中村川が重要とのご意見があるが、前回の策定委員会の中でも 2 本の軸で確認しており、委員長から違う表現での位置づけも検討してはというご意見もあったが、多数になるため、表現しないことにしているのご確認頂きたい。

109 頁の河川整備方針図では、県の戦略との整合性の指摘を受け、整備区間と整備検討区間の一部を修正している。一級河川、二級河川を表現しているのので、県の計画に合わせた修正となっている。

86 頁で森林についての記述があるが、森林・山林の表現が統一されていないとの指摘があり、統計的に地目を表しているものは「山林」それ以外は「森林」で統一している。

119 頁の方針のタイトルは「都市防災」となっていたが、自然的なものも含んだ内容となっており、タイトルの統一との意見もあったので、「都市防災」は削除している。

121 頁は治山事業との表現をしていたが、砂防ダム事業など治山には含まれない事業が記載されていたことから、中山間地域という表現に修正している。

123 頁の「都市景観」としていたが、自然的なものも含むので「都市」を削除している。

これらで 30 頁ほど削減している。

地域別構想は、9 頁の一覧表で嬉野管内の町丁名に誤りがあったので、見直し訂正している。

下図の地形図は、最新のものに差換える予定になっている。

9-7 頁は、鎌田魚見線、東黒部豊原線について修正している。

10-5、8 頁は、地区名が誤っていたため、「中流」で統一している。

21-7 頁は、天白海岸について海岸部の表記範囲を修正している。

22-8 頁は、嬉野津線について地域間の連携強化のために表現を改めており、嬉野では都市計画決定している路線であることから、整備検討の位置づけを行っている。

25-7 頁は、一志嬉野 IC 周辺地域に統一している。また、長期未整備道路の見直しを追加している。

30-6 頁は、柱と図で景観資源・自然資源の保全・活用を追加している。

飯高では小中学校の統合があり、名称が決まれば反映させていく予定となっている。休校扱いになる学校については、教育委員会と相談の上変更を加えていく。

副委員長

意見があればお願いします。

委員

30-6 頁で、景観資源・自然資源の保全・活用の楕円を膨らませて欲しい。道路と川に向けて、櫛田川の文字の辺りまでお願いしたい。和歌山街道が接続するところであり、歴史的な景観等がある。

事務局

その様に修正する。

2. 地域説明会・意見募集・三雲管内説明会の意見への対応の公表について

副委員長

他になければ、資料2の説明を事務局に願います。

事務局

資料2-1は地域説明会の公表案である。1頁の目標年次は平成38年から平成37年に修正するので、平成37年に変更することを明示する予定である。

2頁の中村川の件は、先ほども説明があったが、市全体としては2本の軸で対応する。

3頁の3つ目の開発許可の表現は、開発規制に修正を予定している。

6頁の10番は、地区名を中流に修正する。30番の宮前については、先ほど説明したように自然資源の活用等を追加する。

資料2-2は意見募集結果であり、2頁の開発許可は同様に開発規制に修正する予定である。

4頁のタイトルの件は、先ほど説明したように修正する。

委員

2-1と2-2とで市の考えの記載内容が異なっているが、同じ内容なら同じ書きぶりで回答した方が良いのではないかと。

事務局

意見が多少違うため、一部省略している。

委員

前段だけでも統一した方が良いのではないかと。

事務局

その様に修正する。

事務局

資料2-3は、三雲管内の意見である。29自治会の説明会の主な内容を整理し、三雲の全体会議の中でも報告している。

2頁では、一体感に関する意見や、中勢バイパスの活用に関する意見などが出ている。

3頁の一番上では、区域区分の意見として、三雲時代に何故区域区分されなかったのかという意見があり、農林予算活用のためである旨等を回答している。下から2つ目では、一部だけ線引きできないかとの意見があるが、一体的に線引きする旨を説明している。

5頁の2つ目には、先ほど説明した中央卸売市場の話が出ている。また、嬉野津線沿道の件、国道23号、42号沿道以外の検討などの意見がある。

7頁では、地域間連携の強化のための嬉野津線の話がある。

8頁には、下水道は線引きされた場合、市街地だけが計画的に整備されるのかとの意見があるが、三雲では、調整区域でも既存集落を中心に整備していく方向となっている旨を説明している。

9 頁の建築については、一覧表で説明している。また、虫食いで市街化区域の設定は出来ない旨を説明している。

10 頁は、都市計画税の話になっており、目的税として施設整備・事業の費用に充てる旨を説明している。また、都市計画税は市街地で課税することとなっているが、宅地並み課税という表現は改めて宅地並み評価、農地課税に修正する予定である。

生産緑地制度に関する記載は、生産緑地制度と言う項目に修正する予定である。

11 頁は農地関係であるが、これからの農業施策については、国の制度である認定農家などの活用を図る旨を説明している。

副委員長

整備・開発・保全、我々は整開保と言っているが、都市施設整備の整備も含めて、2 層の都市計画で県と市が決めていく、線引きは県で決める事柄であり、2 層 2 階の都市計画であることが前提となっている。市街地にしたい、農地として使いたい人などあると思う。

事務局

追加説明だが、1 頁の冒頭に内容説明を加える予定となっている。2-3 対応については市の考えを訂正する予定である。

委員

11 頁で大規模開発と書いてあるが、何ヘクタール以上か。

事務局

20 ヘクタール以上などの規定があったが、法改正で無くなる予定となっている。

委員

松阪都市計画はどの様になっていたか確認が必要だが、5 ヘクタール以上の場合もある。原則は 20 ヘクタールになっている。

委員

それ以下の開発はどの様になるのか。

事務局

小さい開発は、市街化調整区域では元々原則的にできないことになっている。

委員

基準がこれまでであったが、なくなることになっている。

副委員長

3 頁の下の説明には、「都市計画区域において」との加筆が必要ではないか。

事務局

その様に修正する。

委員

2 頁の下の「農地は農地、宅地は宅地として」との表現は曖昧で分かりづらいので、分かりやすく修正した方が良いのではないかと。

事務局

土地利用の明確化を示そうとした表現であるが、修正を検討する。

委員

9 頁の建築の部分の対応で、この文章では分かりづらいのではないかと。

事務局

誤解を生む表現のようであり、表現を検討する。

委員

6 頁 2 つ目には、「市街化区域編入要件と併せ」との表現を加筆して欲しい。

色々修正が入るようなので、修正版も確認させて欲しい。

3 頁の 3 つ目も、書きぶりを調整させて欲しい。

色々修正した後に、公表前に確認させて欲しい。

事務局

県と調整後、公表前に委員の皆さんに渡すこととする。

委員

2 頁の 2 つ目の「連携と交流の軸」という表現は、分かりづらいのではないかと。

事務局

元の意見は、道路も接続する絵が描けないかとの意見であり、再整理したので前後のつながりの不明確な部分は確かにあるので修正する。

委員

全体的なものが掴めないまま、ここまできた感がある。官公庁街が現状のままなのかという面で考えるべきではないかとは思っている。家でもリビングを何処にするか、店ではレジを何処に置くかのように、最も大事な配置ではないかと考えている。

委員

市場庄付近の国道沿いの市街化検討区域の範囲が広がっているように感じる。

3つの地域で田畑所有者の集まりを開き、市街化区域か調整区域か、何れも飛地にはできないという調整を始める。まずは本人の希望を聞くことになっている。9月30日に集まって検討することになっており、調整を始めることを報告しておく。

委員

廻って頂いて、直接意見を聞いて頂いたと思うが、どの様に思われ、どの様に考えたかをお聞きしたい。

事務局

全体的には市の方針ということで、方向は線引きで投げかけている。線引きして環境を守る意見が多かったと感じている。

個々の話では、後継者などの問題で自由に土地を使いたい方もいるが、学校単位で出ていただいた方の半分はどちらとも言えないとの意見で、残り大半は必要という意見が多かった。開発に希望が見えない部分もあり、数値的にははっきりと言えないが、線引きの方向であったと言える。

委員

市街化区域になって、開発が来ない場合、税金だけが増えて、細々と米を作っているのでは土地を守れないというジレンマがある。三雲は農振除外が急が増えている。今開発しておけばとのことのような。

委員

三雲でも嬉野でも、農業関係者の方は宅地化による排水は困るという話や、売りたい方もいると聞いている。線引きは曲がり角であり、充分時間が掛かる。隣は売りたい、うちは売らないとは行かず、貸している人も売りたいと聞く。多数が賛同してもらえる計画を考えていくしかないように思う。

委員

農地と同じく、森林も団地化が盛んに言われている。低コスト化を図る方向であり、農業もそうになっている。環境としては恵まれており、環境を重視した線引き等を進めていった方が良いと思う。

委員

線引きは重要な問題であり、時間を掛けて行っていく必要がある。

委員

現状では、駆け込みで宅地造成の申請が多くなっている。開発には、それなりの手立てが必要であり、しっかり話し合いながら調整していくことが必要。

副委員長

環境、コンセンサスが必要という重要な意見を頂いた。

委員

地域別構想の5番と8番で、市街化検討区域の範囲が異なっているのではないか。

事務局

5番が広がっているようなので、調整する。

委員

国道23号は横の道路がないので、沿道を利用していくという考えでよいか。沿道から奥に行くには道路整備が必要になる。沿道から土地利用できる敷地と考えてよいか。

委員

国道23号を含めて3本の道路が走っており、その間ではないか。

委員

基盤があつての土地利用であり、基盤の無いところは市街化区域とは出来ない。

3. 今後のスケジュールについて

事務局

今後のスケジュールとしては、10月12日から縦覧に掛け、11月10日の土曜日に公聴会を開催する予定となっている。これらで意見があれば、12月に策定委員会での審議をお願いしたい。

意見の申出が無い場合には、公聴会は中止になるが、特に意見や公聴会がない場合でも、パンフレットの検討もあるので、12月か1月に策定委員会の開催をお願いする予定である。